

老人と障害者の自立のための

38th 国際福祉機器展 Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2011

会 期：2011（平成23）年10月5日（水）～7日（金）
会 場：東京ビッグサイト 東展示ホール（東京都江東区有明）
出展社数：約510社・団体（日本453社・団体、海外57社）
開場時間：午前10時～午後5時
入 場 料：無料（登録制：当日または事前）
主 催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会

【13か国・1地域から510社の出展が決定！昨年より18社増加】

国際福祉機器展 H. C. R. は、世界トップクラスの規模で開催します。介護・福祉機器の分野ではアジア最大、世界でもアメリカの Medtrade、ドイツの REHACARE に次ぐ規模の展示会です。

今年は、13か国・1地域から昨年より510社が出展し、高齢者・障害者が使いやすい食器・衣類から先端技術を積込んだ福祉車両や電動車いすなど約20,000点の機器が展示されます。出展社は昨年よりも18社増えました。

【開催内容】

- ①福祉機器約20,000点を総合展示
 - ②国際シンポジウム：「英国のキャメロン改革と社会保障」（6日）を開催。詳細を別掲。
 - ③ふくしのスキルアップ講座：院内感染予防、高齢者の住宅、社会福祉法人の会計など保健・福祉・介護をテーマに連日開催。詳細を別掲。
 - ④障害児のための「子ども広場」：子ども用福祉機器の展示に加え、子ども用の福祉機器相談・療育相談も実施。さらに今年は子ども用の福祉機器の開発に関わるセミナーを連日実施
 - ⑤ふくしの相談コーナー：福祉機器・自助具などの相談コーナーを設置。
 - ⑥福祉機器開発最前線：研究・開発中の機器や新製品を紹介。
 - ⑦あるテク講座：携帯電話やタブレットPCなど身近にあるテクノロジーの福祉的利用方法について解説・実演。
 - ⑧高齢者の生活支援用品コーナー：高齢者の日々の生活を便利にするグッズや工夫がなされた製品を紹介。
 - ⑨ふくしの防災・避難用品コーナー：福祉施設向けの防災用品や被災地で役立つ福祉機器を紹介。
- その他、多彩なプログラムを実施。

※ プログラムは変更されることがあります。

最新情報と詳細は H. C. R. Web (<http://www.hcr.or.jp>) サイトでご確認ください。

【多彩な防災関係プログラムを実施！】

1. 「被災地応援コーナー」

東日本大震災は、多くの福祉施設にも被害を与えました。それから半年近くが経過し、福祉施設も復旧を急いでいます。

H. C. R. 2011 では被災地の障害者の自立支援、福祉施設の応援のため、被害が大きかった東北3県、岩手県、宮城

県、福島県を中心とした社会就労センター(注)でつくった品物(セルフ製品)を販売するコーナーを設けます。

注：社会就労センター(セルフ)は、障害などの理由により一般企業で働くことが難しい人たちが働く施設です。
◇会場：東2ホール 小間番号2-06-08

2. 「ふくしの防災・避難用品コーナー」

東日本大震災では、福祉施設においても利用者の避難や、被災した施設のなかでの利用者のケアなどこれまでに経験していない対応をおこなうことになりました。そこではこれまでの防災用品では対応できない場面も多くありました。

こうしたなか、今後、災害に対しどのような備えが必要かを考えるため、福祉施設向けや被災地で役立つ福祉機器の展示コーナーを設けます。

◇会場 東1ホール特設会場C

◇展示内容

①福祉施設向けの防災用品

- ・仮設トイレ
マンホールを使用したり、排泄物をラップでくるむトイレなど
- ・担架、キャリアー
折りたたんで収納したり、ひとりで被害者を背負える担架・キャリアーなど
- ・非常用階段昇降機
停電などでエレベーター等が使用できなくなった時、車いすや歩行困難者を階段でおろす機器
- ・ベッド用シェルター
100角のひのき材を鋼製金具で接続した高い耐圧強度を有する防災ベッド
- ・防災用かまど
大人数の食事を用意するかまど
- ・折り畳み式リヤカー
使用しないときは折りたたんで省スペースで収納できるリヤカー
など

②被災地で役立つ福祉機器

- ・オフロード用車いす
ノーパンクタイヤの車いすやオフロード用の車いす
- ・コミュニケーショングッズ
イラストと文字をつかって、会話障害がある方や外国人の方がコミュニケーションをとるグッズ
など

3. 「防災に関わるセミナー・講座」

(1) 避難所の生活改善を考える～簡単、便利、ダンボールで家具をつくらう～

避難所では日常的な生活ができず、被災者にとって大きなストレスになっています。例えば、避難所の状況をよく見ると、生活は床の上が中心で食事や書き物などの時も床の上でおこなっていることが多いことが判明いたしました。しかし、避難所に一般的なテーブルやいすを置くスペースはありません。

本講座では避難所の生活改善のひとつの事例として、机やいすなどの家具を軽くて丈夫でスペースをとらない強化ダンボールでつくった取組みを報告いたします。このダンボール家具はすでに100台以上が実際に避難所で使用されました。

[※講座は1回だけですが、ダンボールでつくった家具は隣接する防災・避難用品コーナーに常時展示します。]

◇会場：東展示棟1ホール内特設会場A 定員150名

◇日時：10月7日(金) 10:30～12:00

(2) 災害と福祉施設～福祉施設は災害にどう備えるのか～

東日本大震災は東北3県を中心に未曾有の被害を与えました。報道でもあったように福祉施設も、この災害により大きな被害を受けたほか、被災後もスタッフや物資の確保、利用者の健康管理など想定以上の厳しい現実と直面しました。

こうしたなか、福祉施設のスタッフから被災地での活動体験や被災施設の状況についてのレポートを聞き、今後、災害に対しどんな備えをするべきかを考えます。

◇会場：東展示棟1ホール内特設会場A 定員150名

◇日時：10月5日(水) 13:00～14:30

(3) 福祉施設における感染症の知識と対応～日常生活における感染症対策と被災地における感染症対策の実態～

福祉施設は利用者が集団で生活する場であり、感染症に対するきめ細かな配慮は欠かすことができません。特に高齢者や障害者は感染すると症状が非常に重くなることもめずらしくありません。福祉施設職員は感染症に対する正しい知識をもち、その予防に努めるとともに、発症時における適切な対応が求められます。

また、東日本大震災では多くの福祉施設が被災しました。避難所では多くの人々がひとつの空間で暮らすなど、通常とは異なる環境のもとでの生活をよぎなくされています。こうした状況下では感染症の脅威が高まるため、関係者はその対応に追われています。

本講座では、高齢者・障害者施設における日常の感染症に関する知識と予防、発症後の対応策について学ぶとともに、被災地における感染症対策の事例を紹介します。

◇会場：会議棟6階605～608会議室 定員250名

◇日時：10月7日(金) 13:30～15:30

この他にも、国際福祉機器展 H.C.R.2011 では、高齢者や障害がある方と子の生活を支えるさまざまな機器の展示やイベント・セミナーが開催されます。

※記載のプログラムは諸事情により変更される可能性があります。ご来場の際はWebサイトで最新情報をご確認ください。

H.C.R. 2011 事務局

(財)保健福祉広報協会

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5F

TEL. 03-3580-3052

FAX. 03-5512-9798

http : //www.hcr.or.jp

**※10月3日(水)～7日(金)の間は東京ビッグサイト内に
展示会の本部事務局を開設いたします**

TEL 03-5530-1180

FAX 03-5530-1601